

『遠く』 作：ポチ子

『遠く』 作：ポチ子

誰にも追いつけないくらい遠くに行ければ、

幸せになれるような気がした。

周りを見渡しても一人きりで、

後ろにいる自分以外の皆が、

羨ましそうにこっちを見ている。

そうなれば、どんなに気分がいいだろう。

そんな妄想もする。

でも私は、

誰かに追い抜かれないように走り続けるより、

誰かを追い越すために走る方が楽しい事も、

知っているから。

一人でいるのは寂しい。

それは、きっと耐えられないくらい。

今から逃げるために、

1位になることを望むけど、

逃げるために走っても、

そこに幸せなんかない。